

平成二十七年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成二十七年八月一日～平成二十七年十月末

投句数 一、八二二句

特選三句

天

だんくに大きくなりぬ盆の月

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

地

山門を入ればいづこも秋のこゑ

神奈川県横浜市港南区

田阪 武夫

人

大谷戸は紅葉小谷戸は薄紅葉

東京都板橋区

渡辺 未来

入選句

一般の部

秋風や水平線を前にして

東京都品川区

中山 敦美

観音に参りて心爽やかに

東京都新宿区

菱沼 みい

禅寺に暑さを忘れる風の道

神奈川県横浜市港南区

金子 きよ

由比ヶ浜一望せんと登高す

埼玉県狭山市

古谷 多賀子

赤とんぼ大仏様の手の平に

千葉県流山市

角田 勇

江ノ電に触れんばかりや柿の家

神奈川県茅ヶ崎市

水野 秋夫

万緑の鎌倉五山谷戸の風

神奈川県横浜市泉区

江口 隆人

走り根の合間合間の落ち葉掃く

埼玉県北葛飾郡

瀬戸 トメ子

白萩に紅萩ゆるる東慶寺

神奈川県三浦市

秦 孝浩

秋風の騒ぐ腹切やぐらかな

東京都武蔵野市

池田 宏治

海見ゆる文学館や秋日濃き

神奈川県横浜市旭区

許勢 元貞

立ち向かふことの尊し秋の波

東京都品川区

庄田 宏文

ただあるく月の光にみちびかれ

大阪府大阪市天王寺区

花野 晃子

大仏の横顔なでるすすきかな

千葉県松戸市

鍵和田 寿珠

湘南の海につながる鰯雲

京都府京都市伏見区

竹宮 啓介

深秋の影濃くなりぬ古都の午后

神奈川県横浜市戸塚区

高橋 央尚

山門の白き萩のみ残りたる

神奈川県三浦市

兵藤 逸子

おんめさまむらさきしきぶ目に染みて

神奈川県横浜市港南区

石川 正明

鎌倉の月と親しむ椅子ひとつ

神奈川県三浦市

佐原 寛

秋風や駅頭に佇つ修行僧

神奈川県座間市

鈴木 幸子

(順不同)

入選句

子どもの部

秋晴れに松の木映える建長寺

東京都江戸川区

内田 小稀

鰯雲空を見上げる私たち

東京都江戸川区

川上 真登花

天高し友と並びて笑いあう

東京都江戸川区

中村 結和

どうくつで暑さしのぐよ海をみて

東京都江戸川区

山川 流奈

蜻蛉飛び木々がゆれゆく円覚寺

東京都江戸川区

中川 碧

赤とんぼ大仏様と写真とる

埼玉県春日部市

小口 彩

庭の柿お取り下さいご自由に

神奈川県川崎市中原区

佐藤 彩乃

かまくらの空にとびまうとんぼかな

埼玉県越谷市

浅香 志織

江ノ電にはやくのりたい夏休み

千葉県千葉市緑区

橋本 幸也

大仏の頭の上に流れ星

埼玉県春日部市

福島 桜

(順不同)